

**学校 HP にカラー版を載せています。よろしければご覧ください。

上越市立直江津小学校学校だより 令和5年度 第3号 通算 第288号

ジェームス・ダン

(ジェームス・ダンは、直江津小学校校歌の作曲者です) 令和5年7月20日



三智

林 克巳

「三智 (さんち)」という言葉をご存じでしょうか。「智」とは、物事の道理を知り、正しい判断を下す能力のことを言い表します。三つの智と言った方が分かりやすいでしょう。この「三智」は明治から昭和にかけて文学界で活躍した木曾の文豪、島崎藤村 (しまざき とうそん) の言葉です。長野県大桑村の大桑中学校の石碑に、この三智について、次の様に刻まれているそうです。

「人の世には三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、自らの体験によって得る智がそれである」という一文です。

「自ら求めて、意欲的に学ぶことが基本であることは言うまでもない。そのうえで、友達や先生、地域の人など多くの人とかかわりあい、他の人の考え等から自己の学びを見つめ直すことで智が磨かれる。そしてさらには、実際に体験することでこれまで学んだこと、智がしっかりと身につけていくのである。」ということ、藤村は教えてくれているのだと私は解釈しています。

令和の時代になり、世の中はデジタル化が一層急速に進みました。子どもがタブレット式端末に触れる機会はぐっと増えました。ほしい知識はすぐに手に入る時代です。タブレット式端末があれば、何でもすぐに検索し、知識を得ることができます。また、仮想空間を通して、あたかも実体験したかのような体験も容易です。さらに、昨今の生成 AI の高度な発達には目を見張るものがあります。質問に対して精巧な文書を作成したり、お願いすれば企画書や脚本も書いてくれたりするそうです。

しかし、容易に手に入る知識、簡単な疑似体験で得られる事柄は、忘れてしまうこと、身体から離れていってしまうことも非常に簡単なものです。デジタル機器等も適切に使いつつ、自分の心、頭、体を使って経験をすることを通して真に自分の智になっていくものと思います。

間もなく夏休みを迎えます。自分の興味関心に応じてじっくりと学ぶことのできる時間があります。藤村の言う三智を是非大切に、一人一人にとって充実した夏休みになることを願っています。

各学年のおたよりから

スマイル学年

iPad を使い始めました

ICT 機器とは上手に付き合っていくことが大切です。1年生もついに、iPad を使い始めました。学習の中で適切な使い方を学んでいます。まず、子どもたちに話をしたこととして、iPad は誰のものかということです。自分たちが使っている iPad は、自分のものというわけではなく、お家の人から買ってもらったものというわけでもありません。上越市から借りているものだということで、大切に使いついでとみんなで確認しました。

まずは iPad を開いてみたり、写真を撮ってみたりしました。すぐにやり方を覚えて、サクサクと使っていました。これから様々な学習で活用していきたいと思います。



にじいろ学年

野菜の収穫、ぞくぞくと…!



ジャガイモ掘りをしました。ころころとかわいいジャガイモが収穫できました。親子活動でおいしくいただきました。

新鮮な野菜が毎日のように採れています。見たこともないくらい大きなきゅうりに丸々とした艶のよいナス、赤くておいしそうなたマト。収穫した野菜を調理したり、食べたりした様子を iPad で撮影しました。

7月22日(土)のナスサミット(県産ナスの魅力を発信するプレゼンテーション大会)に向けての準備も進めています。

きらめき学年

クラス会議を始めました

直小名物「クラス会議」をいよいよ3年生でも始めました。まずは、子どもたちとクラス会議の進め方について確認をしました。椅子を持ち寄って輪になるところから一つ一つ丁寧に行いました。例えば、「『おすしのやくそく』を守って話し合いの形になりましょう。」では、「お」は思いやりの「お」ですが、思いやりとは何か、子どもたちの考えている思いやりを共通理解するなどです。すでに4回目が終わったのですが、輪をつくるのが上手です。子どもたちに、「上手になっているのはどうして?と尋ねると、「声を掛けているから」と、友達とつながる大切なポイントを既に押さえています。素敵な子どもたちです。



きずな学年

うみまちアート作品づくり



北さくら工房のみなさんと、「うみまちアート」に出店する作品をつくることになりました。直江津と言えば「海」ですね。海にちなんで、レオ＝レオニの作品として有名な「スイミー」のような世界を、大きなキャンバスに描こうと考え、下地となる青色を塗りました。

一発勝負の活動でしたが、子どもたちの大胆さ、躊躇なく塗っていく感性に驚きながら活動を見守りました。小さな赤い魚たちをモチーフに、「共生」を表現できればと考えています。

ハッピー学年

山川製菓店でのお菓子作り体験

6月14日と6月29日に2グループに分かれて校外学習に行ってきました。14日に1グループはデコレーションケーキ作り、29日に2グループはシュークリーム作りをさせていただきました。お店でお菓子作りを体験させていただけることはなかなかありません。子どもたちは、お菓子作りを専門にしている職人から、お店で作らせてもらうことで多くの学びを得てきました。学校に帰って来て、体験したことを語り合いながらクラスのみんなでおいしくいただきました！



チャレンジ学年

最高の修学旅行



金沢への修学旅行。6松全員が参加し、大きなけがや病気、事故なく行って来ることができました。天候も、不思議なほどに雨雲から逃れ、傘をしっかりと使ったのは、帰りの有磯海SAだけでした。さすがチャレンジ学年です。雨雲を吹き飛ばすほどのパワーがあります。子供たちは満足し、「最高の修学旅行だった」という思いをもてたようです。

直江津小学校区内町内会・青少協・PTA・学校共催防犯活動

7月4日(火)、「上越市防犯の日・防犯週間」の取組の一環で、直江津小学校区では、町内会・青少協・PTA・学校の共催で防犯活動を行いました。各町内会長から危険箇所について話題に出していただき、情報交換を行いました。次に、防犯パトロールとして学校付近の危険箇所を回り、視察や協議を行いました。工事が必要と判断された箇所では、子どもたちが安心・安全な登校ができるように、市への要望と工事までの日程の調整など迅速な対応を行っていただきました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。今後とも子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。



教育広報誌「かけはし」55号について(お知らせ)

この度、新潟県教育委員会において教育広報誌「かけはし」55号が作成されましたので、御高覧いただけますようお願いいたします。

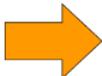
- 1 「かけはし」55号掲載ページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

- 2 QRコード

教育広報誌 令和5年(2023年)7月3日発行 vol.55

かけはし

QRコードから見る 

または

新潟県 かけはし

で検索 



新潟県教育委員会